

名詞的用法

1. 名詞的用法とは

1 名詞的用法の意味

「～すること」を意味する不定詞の用法を、名詞的用法といいます。

2 名詞的用法の働き

文中では名詞と同じ働きをするので、

- 主語
- 補語
- 目的語

のいずれかになります。

2. 名詞的用法の文

1 主語になる文

主語になる場合は「～することは」「～することが」を意味する時です。
例えば、

「切手を集めることは私の趣味です。」

この文の主語は

「切手を集めることは」

この部分です。「～ことは」となっているので、このような場合に名詞的
用法を使います。では実際に英作してみます。まずは主語を英作します。

「切手を集めることは」

不定詞は **to+動詞の原型** の形なので、

to collect stamps

この形になります。これが主語です。ここからはいつもの英作でOKです。

例文：

「切手を集めることは私の趣味です。」

⇒ まずは単語に

切手を集めることは 私の趣味 です。

(to collect stamps) (my hobby) (is).

⇒ これを 主語+述語+～. に並べると、

To collect stamps is my hobby. (完成)

これで完成です。「～すること」の部分を to～ で表すことに注意して下さい。

では、他の例文も見てください。

例文：

To study English is great fun.

(英語を勉強することはすごく楽しいです。)

To eat or drink too much is bad for your health.

(暴飲暴食をすることは健康に悪いです。)

2 補語になる文

補語になる場合は「～すること」を意味する時です。1の主語になる場合と同じ意味ですが、文中の位置が異なります。例えば、

「切手を集めることは私の趣味です。」

1で学習したという文で注目して欲しいことは、文が第2文型になっていることです。

To collect stamps is my hobby.
S V C

第2文型は S+V+C の形で S=C になるのが特徴です。

この文では、「切手を集めること=私の趣味」が成り立ちます。ということは、S⇔C でも成り立つのではないのでしょうか。日本語の文で入れ替えると、

「切手を集めることは私の趣味です。」
→ 「私の趣味は切手を集めることです。」

見事に成り立ちました。実はこの S と C を入れ換えた形こそが、名詞的用法の補語になるパターンなのです。

では英作します。

例文：

「私の趣味は切手を集めることです。」

⇒ まずは単語に

私の趣味は 切手を集めること です。
(my hobby) (to collect stamps) (is).

⇒ これを 主語+述語+～. に並べると、

My hobby is to collect stamps. (完成)

これで完成です。「～すること」の部分を **to～** で表すことに注意して下さい。

では、他の例文も見てください。

例文：

[主語になる]

To play tennis is my hobby.

(テニスをすることは私の趣味です。)

[補語になる]

His hobby is to play tennis.

(彼の趣味はテニスをすることです。)

例文：

[主語になる]

To pass the exam is her goal.

(そのテストに合格することが彼女の目標です。)

[補語になる]

Her goal is to pass the exam.

(彼女の目標はそのテストに合格することです。)

3 目的語になる文

目的語になる場合は「～することを」「～することが」を意味する時です。
目的語になる場合は次の形になっています。

主語＋動詞＋不定詞＋～.

この形でよくでてくる動詞には、

- want＋不定詞
- like＋不定詞

などがあります。では例文です。

「私は新しい服を買いたい。」

まずは、この文の述語の「買いたい」を英作します。この「買いたい」という表現を少し変えて、

「買いたい」
→ 「買うことをしたい」

この形にします。すると、これで「～することを」の目的語になる形になりました。これを不定詞で表すと、

want to buy

となります。

では全文を英作します。

例文：

「私は新しい服を買いたい（買うことをしたい）。」

⇒ まずは単語に

私は 新しい服を 買いたい。

(I) (new clothes) (want to buy).

⇒ これを 主語+述語+～. に並べると、

I want to buy new clothes. (完成)

これで完成です。「～することを」の部分を to～ で表すことに注意して下さい。

では、他の例文も見てください。

例文：

I like to go shopping.

(私は買い物に行くのが好きです。)

They tried to solve a function.

(彼は関数を解こうとしました。)

また不定詞を否定する場合は、「not to」の形にします。「don't」を使うと動詞を否定することになるので、意味が全く変わってきます。次の2文の違いに注目して下さい。

例文：

[不定詞を否定]

I decided not to make complaints.

(私は弱音を吐かないと決心しました。)

[動詞を否定]

I didn't decided to make complaints.

(私は弱音を吐く決心をしませんでした。)

Copyright (C) 2008 All Rights Reserved, ちょいデブ親父の英文法